

# 不撓不屈

京都府立洛北高校硬式野球部  
部活動通信：第 25 号  
発行：MG 今村・西山・吉田  
2021 年 7 月 30 日

## 野球部 topic 1

### 「洛北の夏 開幕！ VS 城南菱創」

7 月 10 日に全国高校野球選手権京都府大会が開幕し、洛北高校は 7 月 13 日に初戦を迎えました。シード校の城南菱創高校と対戦し、12-7 で初戦突破を果たしました。

洛北は 1 回表、先頭打者奥山のヒットから積極的に攻め、先制点を挙げましたが、その裏に相手にヒットやフォアボールを許し逆転されてしまいました。ここから両チームの乱打戦となります。何度も得点圏にランナーを置きながら、あと一本が出ない場面もありましたが、5 回裏にチャンスが訪れます。先頭打者の木村がヒットで出塁すると、ひとりひとりが「繋ぐ」という意識を持ち、この一回一挙 5 点を挙げました。5 回終了時には雷雨に見舞われ、約 2 時間の中断がありました。一時はグラウンド全体が水浸しになったものの、わかさ球場の職員の方々や高野連の方々、そして両チームの試合出場メンバー以外総出でグラウンド整備を行い、無事に試合を再開することができました。再開後、相手に連打を許し 3 点を返されてしまいましたが、交代したピッチャー安田が好投し、悪い流れを断ち切りました。9 回表には 2 点を追加し、そのまま逃げ切って 12-7 で勝利を掴み取りました。

これまでの公式戦と同じく、今回もチームの状況が万全と言えない中での戦いとなりましたが、総力戦で勝ちきることができました。また、雷雨による中断、そして試合を再開するために何人もの人が動いてくださった姿を目の当たりにできたことはとても刺激になったことだと思います。



## 野球部 topic 2

### 「洛北らしく戦え！ VS 京都外大西」

3 回戦は京都外大西高校と対戦しました。結果は 4-1 で敗れ、3 年生 12 人は 7 月 18 日をもって引退しました。これまで、「負けにくいチーム」を目指して練習に励み、強豪校と対戦しても粘り強く自分達の野球をグラウンドで表現することを目標としてきました。

洛北の先発投手は 2 年木村。巧みなピッチングで相手を 6 回まで無失点に抑えます。攻撃では何度か得点圏にランナーを置くも相手投手のテンポの速い投球に苦しめられ、無得点に終わります。7 回表、相手に死球を与えてしまうと、そこにヒットが絡まって 1 点を先制されます。最終回にはこれまでケガに苦しんでいたエースの白石がマウンドに上がりますが、連打を浴び 3 点を追加されます。最終回洛北の攻撃は、2 年柴田から。このままでは終われないと執念の一振り、ボールはレフト前へ。洛北の野球はここからです。柴田に続いて奥山、鳳山もヒットで出塁。無死満塁のビッグチャンスを作ります。その後進塁打によって 1 点を返すことができましたが、この打球が惜しくもダブルプレーとなってしまいます。最後はそのまま相手に逃げ切れ、試合終了となりました。

これまで目標としてきた「ベスト 8」。春夏共に達成できず悔しくて涙を流す部員も沢山いましたが、毎日本気で練習をやりきってきたからこそ後悔はありません。3 年生はこの 2 年半やってきたことに誇りを持ち、ここからは将来のために全力を尽くしましょう。1・2 年生はより一層「負けにくいチーム」を目指し、チームとしても人としても強くなれるよう頑張ってください。

最後になりましたが、これまで支えて下さった保護者の皆様、学校関係者の皆様、野球部関係者の皆様、本当に応援ありがとうございました。これまで無観客の試合が続きもどかしい気持ちもありましたが、今回こうやって沢山の方に球場や LIVE 映像で応援していただくことが出来て本当に嬉しかったです。

これからも洛北野球部はさらに上を目指し頑張っていきますので、引き続き応援宜しくお願いします。



《あいさつ》

「不撓不屈」を発行し始めてから2年半が経ちました。ありがたくもこれまでに25号を発行することができました。思い返すと最初は、パソコンの使い方や文章力もままならない中で、野球部の様子を皆様に上手くお伝えできているかどうか不安でしたが、様々な方に励ましの声をいただいたり、協力していただいたりする中でこうやって毎月発行し続けてくることができました。本当にありがとうございました。

この「不撓不屈 夏季特別号」を最後に3年今村、吉田は2年西山にバトンを渡します。これまでとはまた違った「不撓不屈」を見ていただければと思います。これからも宜しくお願いします。